

# 近江の国、長浜 姫たちの戦国物語

茶々  
江  
初



浅井三姉妹 茶々・初・江のふるさと  
「浅井三代の城・小谷城」

平成23年12月4日まで好評開催中

## 小谷城戦国歴史資料館



9:30 ~ 17:00 開館  
(入館は 16:30 まで)

一般 300 円 (240 円)

小人 150 円 (120 円)

※( ) 内 20 名以上団体割引

火曜休館 (祝祭日にあたる場合は翌日休館)

年末年始 (12/28 ~ 1/4)

その他展示替えなどで臨時休館する場合あり

滋賀県立歴史博物館

滋賀県長浜市小谷郡上町 139

Tel/Fax 0749(78)2320

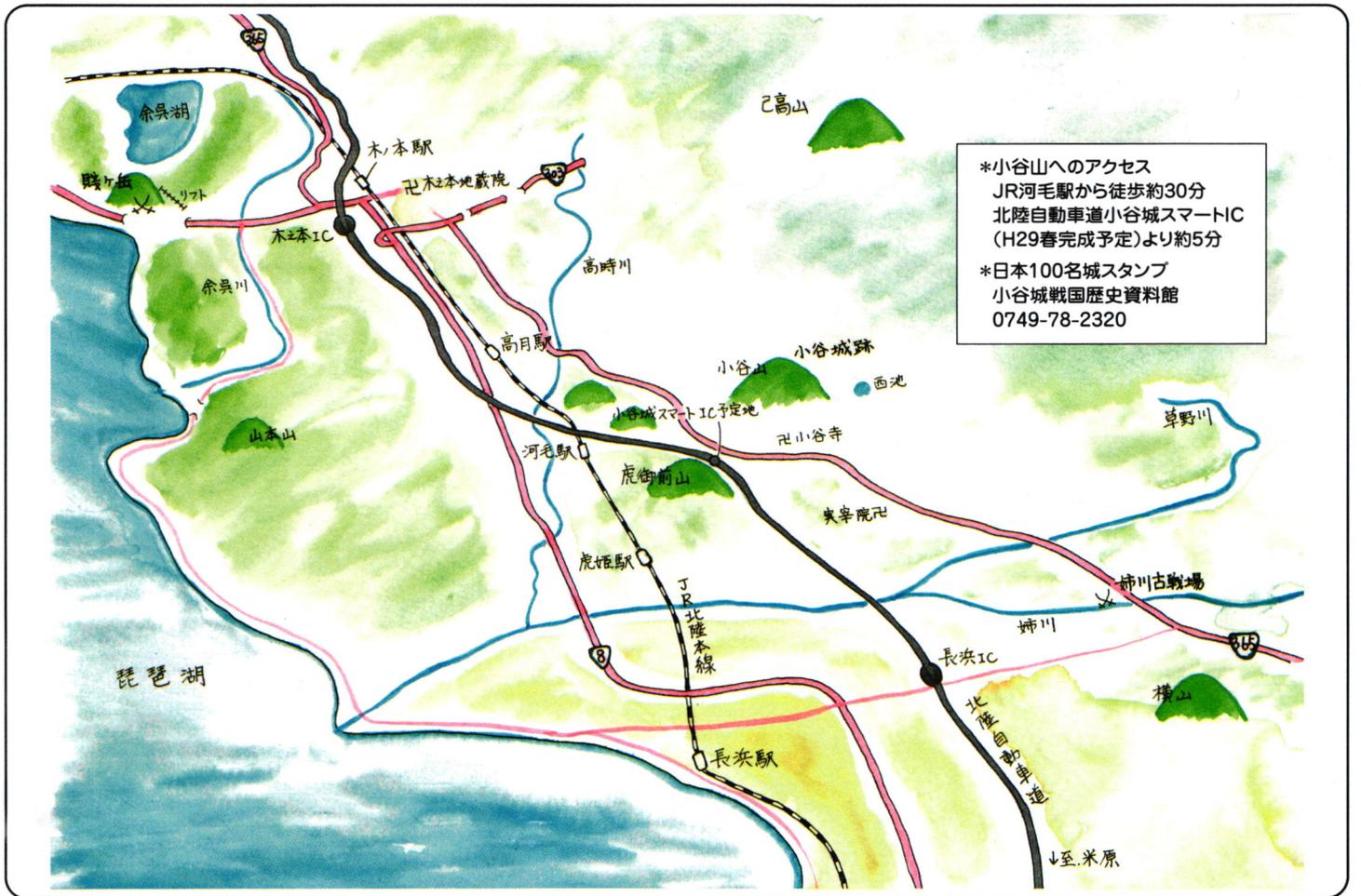
<http://www.eonet.ne.jp/~odanijou-s/>

## アクセスマップ



■公共交通機関でお越しの場合  
JR 北陸線河毛駅より徒歩 30 分  
湖北コミュニティバス河毛駅発  
で歴史資料館前下車

■自動車にてお越しの場合  
北陸自動車道長浜 IC より 8km、  
木之本 IC より 9km  
郡上南信号を山側へ入る



\*小谷山へのアクセス  
 JR河毛駅から徒歩約30分  
 北陸自動車道小谷城スマートIC  
 (H29春完成予定)より約5分  
 \*日本100名城スタンプ  
 小谷城戦国歴史資料館  
 0749-78-2320

## 基本コース 「浅井三姉妹の生まれた大広間・本丸・中丸」登るコース



**①番所跡**  
 かつては登城者の検問所があり、城郭主要部への入口だった。



**②虎御前山展望所**  
 眼下に信長の本陣のあった虎御前山を展望することができる。



**③御茶屋跡**  
 主郭部最先端の曲輪跡。西側のすみには庭があったと思われる。



**④御馬屋跡**  
 三方を高い土塁に囲まれる。名称通り馬小屋があったかどうかは不明。中央には井戸があった。



**⑤首据石**  
 六角氏との戦いに内通した今井秀信の首をさらしたといわれる石。



**⑥赤尾屋敷跡**  
 天正元年9月1日に浅井長政が29歳の若さで自刃した地。



**⑦桜馬場跡**  
 大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」のロケの中心地。城内随一の大パノラマがひろがる。小谷城社碑、浅井氏家臣供養塔がある。



**⑧黒金御門跡**  
 両袖に巨石の群を構えた御門跡は、いかめしさに圧倒されそうである。秀吉の破城による跡が往昔を物語る。



**⑨大広間跡**  
 お江が生まれたとされる曲輪跡「千畳敷き」とも呼ばれ、城内最大の曲輪跡。



**⑩本丸跡**  
 天守など、城の中心となる建物があったと推定される。南側に石積みが残る。北側に大堀切が見られる。



**⑪中丸入口(虎口)**  
 枡形虎口を配置し、巧みに敵の侵攻を防御している。

【奥びわ湖エリアの観光に関するお問い合わせ】

奥びわ湖観光協会

電話:0749-82-5909 FAX:0749-82-3956

【小谷城バスについてのお問い合わせ】

北びわこふるさと観光公社

電話:0749-78-0300 FAX:0749-50-3686

三姉妹の実父。小谷城の3代目城主。信長が越前朝倉氏を攻めたため離反。姉川の合戦、志賀の陣などを経て天正元年(1573)小谷城を攻め落とされる。同年9月1日自刃。(享年29)



浅井長政

秀吉の没後、石田三成らと対立。関ヶ原の合戦で西軍を敗り、慶長8年(1603)征夷大將軍となる。大坂の陣で豊臣家を滅ぼす。

文禄4年(1595)、6歳年上の江と結婚。生涯側室は持たず、江との間に2男5女をもうけた。

徳川家康  
初代將軍  
二代將軍  
秀忠

織田信長

三姉妹の伯父。天正元年(1573)小谷城を攻め落とす。天正10年(1582)、本能寺の変にて没。

お市の方

三姉妹の実母。織田信長の妹。信長の同盟政策により長政に興入れする。小谷城落城後の天正10年(1582)、柴田勝家と再婚。天正11年、賊ヶ岳で柴田軍が敗れ、勝家と自刃する。

柴田勝家

母の再婚により三姉妹の義父となる。賊ヶ岳合戦で秀吉に敗れ、北ノ庄城にて自刃。

後水尾天皇  
108代天皇

興子内親王  
(明正天皇)

江の孫にあたる。109代天皇。859年ぶりの女帝で徳川家を外戚とする唯一の天皇。

和子

忠長

家光  
三代將軍

千姫

初姫

初 = 京極高次



初ら三姉妹とは従兄弟にあたる。近江八幡城主、大津城主を経て、関ヶ原の合戦後若狭小浜城主となる。慶長14年(1609)没。

万菊丸

万福丸

茶々



豊臣秀吉  
おね

信長の家臣として小谷城攻めに加わる。賊ヶ岳の合戦後、三姉妹を保護し、茶々を側室とする。

秀頼

秀吉、側室茶々との間に生まれる。元和元年(1615)大坂夏の陣で大坂城が落城した際、茶々と共に自害。

7歳のとき秀頼に嫁ぐ。大坂城落城の際に助け出される。



三女

江

織田信長

豊臣秀吉

徳川家康

# 浅井三姉妹

長女 茶々

豊臣秀吉の側室となり、大坂城にて秀頼を生む。秀吉が慶長3年(1598)に没した後、関ヶ原の合戦、方広寺の鐘銘をきっかけとした大坂冬の陣を経て、元和元年(1615)、大坂夏の陣で大坂落城、秀頼とともに自刃。

次女 初

京極高次に嫁ぎ、夫が没した後は出家して常高院と号した。豊臣方(姉茶々)と徳川方(妹江)が対立した大坂の陣では両家をつなぐ使者として活躍した。晩年は江戸で過ごしており、小浜の常高寺に眠る。

二度の落城と三度の結婚

江が生まれたのは天正元年(1573)、小谷城落城の年である。小谷城・北ノ庄城で父母を、本能寺の変で伯父を亡くした後、三姉妹は秀吉の保護のもと育った。江は天正12年(1584)に佐治一成と、文禄元年(1592)に羽柴小吉秀勝と結婚。しかし一成とは秀吉の命で離縁させられ、秀勝とは死別している。

天下の武将3人と深く関わりを持つ女性

戦国乱世から太平の天下へ

文禄4年(1595)、6歳年下の徳川秀忠と3度目の結婚をし、2代將軍となった夫との間に2男5女をもうけた。このうち長男の家光は3代將軍に五女の和子は後水尾天皇のもとへ興入れし、興子内親王(後の明正天皇)を生み、將軍家・天皇家に浅井家の血筋を残している。江戸城で54歳の生涯を閉じた江は、その死後当代の女性としては最高位の従一位を贈られ、東京芝の増上寺に眠る。

# 小谷城跡を歩こう!!

魅力いっぱい日本屈指の山城 江・浅井三姉妹誕生の地

浅井氏の居城であり、信長との激しい攻防戦が行われた山城。  
山城の遺構をよく伝えているだけでなく、激戦の跡が各所に残り、歴史性からいっても、  
物語性からいっても文句なしの第1位。小谷城跡へ登ってみよう!



## 小谷城跡が誇る5つの見どころ

- ① 小谷城は全国を代表する「攻めにくく守りやすい」戦国屈指の山城。
- ② 必要以上に整備されておらず、「小石ひとつも文化財」の精神が生きている山城。
- ③ 小谷山眼下に広がる近江平野とびわ湖の大パノラマは、湖北の絶景スポット。
- ④ 大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」ゆかりの地で浅井三姉妹誕生の地。
- ⑤ 四季色々の花や紅葉が楽しめ、多くの植物や野鳥が生息する城跡。

## 山登りにおける注意

- ・ 徒歩で登られる場合、追手道入口または出丸入口をご利用ください。
- ・ 山には売店、トイレはありません。
- ・ 期間限定で小谷城バスが運行されます。(ガイドステーション～番所跡前)
- ・ この期間を除いて、乗用車で番所跡前まで上がれます。
- ・ 城跡歩きの基本コース  
— 絵地図の①～⑪については裏面に解説。